



<CAM フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年9月27日

フィリピンも利下げ  
今年3回目、4.0%に

フィリピン中央銀行は 26 日、政策金利の翌日物借入金利を 0.25%引下げ 4.0%とすると発表した。8月に続き 2 会合連続の引下げであり、今年に入って 3 回目の利下げとなった。足元の景気が減速していることを理由としている。19 日のインドネシアに続き、米国 FRB の利下げ（18 日）に追従した利下げである。

アジア各国は基軸通貨国の米国が利下げしたことから、自国からの資金流失に伴う自国通貨安が起こる懸念の少ないタイミングで利下げを行い、自国経済の浮揚策に努めている。



出所：フィリピン中央銀行のデータをもとにキャピタル アセットマネジメントにて作成

以上